

2016年～2017年度 国際ロータリーのテーマ



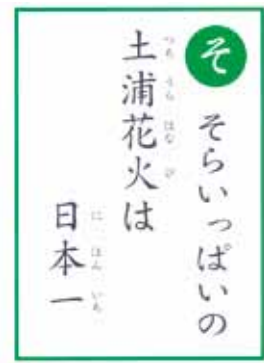
人類に
奉仕する
ロータリー

2016～17年度 国際ロータリー会長
ジョン・ジャーム 氏



10月は経済と地域社会の発展月間です。

連載 土浦郷土かるた



制作：土浦市子ども会育成連合会
協力：土浦市・土浦市教育委員会

土浦花火大会 大正14年に、航空機の事故でなくなった将兵の霊を慰めるために始まった花火大会です。日本の花火師達が腕を競って花火を打ち上げるこの大会は、土浦の秋の大イベントになっています。

2016～2017年度(第59期 小倉年度)

10月第4例会プログラム

10月27日(第2870回) VOL. 15

- 点 鐘
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 新会員卓話
- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- ロータリーソング

- 会 長
- 四つのテスト
- 親睦活動委員会

- 佐藤 ぱうる会員
- S.A.A
- 出席委員会
- 会 長
- 我等の生業

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

土浦ロータリークラブ

RI (国際ロータリー) 承認 日本国内247番
創立 1958年2月14日(昭和33年)
承認 1958年3月 7日(昭和33年)
事務局：土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F)

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 小倉 史義 幹事 竹内 崇

TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場：L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12：30～13：30

2016～17年度 土浦ロータリークラブ 第59期 クラブテーマ

ネクストロータリー 土浦ブランド ～土浦ロータリークラブの伝統を次代に…～

卓話「中心市街地活性化にスポーツを」

バレーボールチームつくばユナイテッドサンガイア
運営サポート会社VSC(株) 専務取締役 岡野 實 様



『スポーツで繋ぎ』豊かな街づくりを目指します
“さらに元気な街づくりを！”



8. 新しいスポーツシステムの創造と地域づくり

新しいスポーツシステムのキーワード

地域密着(地域経済活性化と市民の健康維持活動への貢献)

- スポーツイベントの開催による開催地の地域経済の活性化に貢献できる。
→スポーツイベントをとおして県内外から数千人規模の観客者を開催地に、ご来場いただくことで地域の経済(ホテル、飲食、観光事業等)の活性化に貢献できる。
- スポーツと健康をテーマに市民の健康維持に貢献できる。
→地域住民の健康・福祉活動拠点へスポーツ選手を派遣することで市民の健康維持活動に貢献でき「住民参加型の健康・福祉」の地域づくりのサポートにつながる。

↓

■地域スポーツクラブチームが主体となり地域の経済団体、行政機関およびメディア等との連携を図りながら地域経済の活性化と市民の健康づくりに貢献しつつ、スポーツをとおして地域の活性化につながるシステムの構築が重要と考えております。

【チームサポート事業の例】
『つくばユナイテッドサンガイア』へのサポートについて



2019年茨城国体成年男子で優勝を目指す！
Vプレミアリーグ(一部)昇格を目指す！

↑ 支援 ↓

企業、行政、住民の理解と支援が必要

地域に根付いたプロバレーボールチーム『つくばユナイテッドサンガイア』を全面的にサポートしながら、スポーツを軸としたスポーツコミッションを目指します！！

**RSC会が目指す
地域スポーツコミッションの実現**

土浦市を中心としたRSCの会発足について

目的

異業種交流会

土浦市を中心としたつくば、奥西エリアの企業(若手経営者)にて企業間の横の繋がりを目的として、スポーツが軸で異業種間の交流を促進し、各々の課題が互いの情報を発信しつつRSC会・会員相互がWIN WINとなるような組織化を図り、異業種間での絆を保つ活動を推進してゆく。(定期的に開催)

地域スポーツを主体とした街作り(スポーツのビジネス化)

つくば市のプロバレーボールチーム『つくばユナイテッドサンガイア』をモデルチームとして、企業に頼らない地域密着型のクラブチームの事業活動にスポーツ産業、観光産業を見据えた組織作りをしながら、各市町村の地方創生を目指した各々の課題やテーマについてを考案、発案し、地域スポーツのビジネス化を図りながら街作りを通して各企業の更なる躍進を目指す。

地域スポーツコミッション

RSCの会活動ご紹介

2016年11月予定の2016年11月の2016/17シーズンV・チャレンジリーグ開幕戦
：土浦水郷体育館開催をRSC会・スポーツコミッションの最大イベントと位置づける。

参加予定チーム数：富士通、大分三好、トヨタ自動車、大同特殊鋼
警視庁、埼玉アザレア、つくばユナイテッドサンガイア、VC長野(8チーム)

バレーボール開幕戦と企業PR、観光、飲食産業、メディア、商工会議所一体型「スポーツ王国」の完成



企業PRブース、水郷体育館、飲食・イベントブース、メディアブース、リーグ戦(バレーボール)、観光PRブース

RSCの会2016年度活動内容

土浦を全国へ！

企業PR、観光、飲食、メディア、商工会議所、スポーツ団体の連携で「土浦を全国へ」

2016年9月1日(金)実施
スポーツ振興基調講演：ホテルマロウド筑波
「東京五輪バレーボール・メダルへの挑戦」
講師：一般社団法人日本バレーボールリーグ機構 代表理事会長 嶋岡健治郎

2016年9月3日(日)実施
関東V・サマーカップ：開催予定地：つくば市(土浦市、つくば市を中心とした共同連携事業)

2016年11月5日(土)、6日(日)予定
2016/17シーズンV・チャレンジリーグ1開幕戦：開催予定地 土浦水郷体育館

2016年開催月検討



異業種交流会、企業間勉強会、スポーツコンペ

現在究極の巨大Eコマース産業を検討中(後日提案致します)

私たちの願い

私どもの願いは地域スポーツをとおして、その地域の観光資源や文化財を広く全国に、そして世界へと発信してゆきたいと願っております。

今回、土浦市で2016/17シーズンV・チャレンジリーグ1の開幕戦を誘致し、世界でも驚異的な人気を誇るインターネットテレビDAZNが2日間で合計6試合を完全生中継配信していただくことも、その証であります。

土浦を全国へ！そして世界へ！

RYLAセミナー報告

ライラセミナーを終えて

筑波電子株式会社 新 大輔 さん

私は今回初めてライラセミナーに参加させていただきました。正直、はじめは単に業務の一環という気持ちで何の期待感もありませんでした。ですが、講師の方の講義を聞き、学生時代ぶりに同世代の人たちと意見をぶつけ合ったり、ウォークラリーやバーベキューなどの体験を経て、自分の中でとても良い刺激になりました。仕事や普段の生活に対する意識が変わり、これからはただ惰性で日々を過ごすのではなく、常に向上心を持つと思いました。このような機会を与えてくださった方々にとっても感謝しております。この度は、まことにありがとうございました。



こんにちは、ローテックスの廣瀬真緒です。

廣瀬 真緒 さん

10月15、16日にライラセミナーに参加させて頂きました。今年のテーマはリーダーシップについてでした。



講演者の方から自分の人生を基にリーダーシップについて、リーダーとはどうあるべきか、どういうリーダーが育っていくべきかなどについて学びました。

そのあと、5人グループに分かれてそのテーマについて考えました。私たちのグループの中にはフランスからの留学生クララがいたので、日本人の考えるリーダーシップについて1から説明したのが1番大変でした。

そして私たちはフランス人が思うリーダーシップについてと、日本人が思うリーダーシップについてを比較してみんなの前で発表しました。

周りの人達とクララの間で、通訳の役割を果たせて嬉しかったです。



ライラセミナーに参加して、色々な年代の方々と接することができ、様々なことを学びました。参加させて頂きありがとうございました。今後に生かしていこうと思います。また是非参加したいです。

学生生活で感じたこと

米山記念奨学生 ハジミルザアガスイ・ニルファルさん

人生には様々な段階がある。そして、学生生活はこれら段階の一つである。学生生活は人生の中で最も重要な時期と考えられる。将来の夢と希望はこれに依存する。国家の繁栄は学生に依存し、自分は国の将来を担う学生たちの中の一人である。自分は適切な教育を受け、良い性格を維持し、日本で品行方正な生活を送り、良い母親、良い配偶者になる責任がある。自分には多くの責任があるが、従順、勤勉、規制と忍耐は自分の人生の重要な部分である。忍耐はすべての成功のルートだと思う。

ロータリーは、自分の博士課程の研究を継続するための重要な原動力である。自分はロータリーとの提携に熱を入れている。何故かという、この組織は成功者を集めて、相互交流をはかり、将来のリーダーとして成長するための集団的動機を提供しているからだ。特に、ロータリーは自分の人間関係とチームワーク能力を存分に活かし、自分のリーダーシップの潜在能力を引き出すために火をつけた。この組織に参加してから、自分は今社会に入り、社会に貢献できる人間になる準備ができたと感じる。今、自分は学生としてより多くの科学の知性を開発しようと思う。また、自分は日本の深い文化の中の従順、忠実、尊敬などの良い特質を学習している。

学生は国の将来の希望である。従って、自分は人類に奉仕し、社会に貢献できるように努力している。そして自分の国だけではなく、他の国、特に自分が留学した国の科学も発展させたい。今日昨日の夢は現実になります。ロータリー奨学金は心配しなくても学ぶこと自分を向上することを可能にします。ロータリー奨学金は今年自由に勉強するのに私の人生をかわり将来にむけて肯定的にうけいれます。この変化はロータリーの人々の親切によって可能にされました。

にここBOX

- ◇小倉会長～岡野實様、オリンピック、国体とスポーツに関心が高まってきているなか、本日は卓話をありがとうございます。
- 竹内幹事～プロバレーボールチーム「つくばユナイテッドサンガイア」岡野様、卓話ありがとうございました。サンガイアの快進撃を祈念いたします。
- ◎飯山君～新生野球部宜しくお祈りします。応援団も大歓迎!
- ◎鈴木(亮)君～例会を2週続けてお休みしてしまいました。
- ◎竹中君～先週のSTAR委員会に多数の会員のご参加をいただきまして誠にありがとうございました。お陰様で有意義な会合となりました。
- ◎沼田君～岡野様、中心市街地活性化に対する卓話ありがとうございます。
- ◎廣瀬(太)君～9/27に次男 太久(たく) が誕生しました。
- ◎三輪谷君～前回休んですみませんでした。
- 平島君～VSC岡野様卓話ありがとうございます。
- ◇金澤君～お休みして申し訳ありません。大学の授業があります。
- ◇佐藤君～先週は、スター委員会を欠席して申し訳ありませんでした。
- ◇高木君～写真掲載されました。
- ◎誕生祝～相藤君、市口君、倉持君、大内 翼様
- ◎入会記念祝～磯君、鈴木(亮) 君

メイクアップ

鶴田(10/16 国際奉仕・財団のV T T会議)
小倉、竹内、岩瀬、小原、竹中、高木、沼田、平島
(10/20 第1回指名委員会)

出席報告

会員	欠席	出席	免除・欠席	出席率
59名	22名	37名	3名	66.07%

例会予告

- 11月 3日 休会(文化の日)
- 10日 会長挨拶、「ロータリーの友」紹介、新会員卓話、誕生祝



11月のロータリーレートは1ドル=102円です。



ロータリー用語辞典

米山 梅吉 (よねやま うめきち) (1868～1946)

日本のロータリーの創始者。日本ロータリーの父「Father of Rotary in Japan」と称されます。

1868年2月4日、大和国高取藩の和田氏の三男として東京に生まれ、父の死後、母の故郷の静岡県長泉(現米山梅吉記念館の所在地)に移り、中学生まで、ここで過ごします。1883年上京し、1887年、米山家に養子として入籍。同年渡米し、学問を修め1895年帰国後、三井銀行に入行しました。

その後1918年の渡米中、ダラスロータリークラブのロータリアンになっていた福島喜三次の紹介により、彼はロータリークラブと出会いました。そして帰国後の1920年10月、米山梅吉は東京RCを創立し会長に就任しました。幹事は福島喜三次です。

これが、日本のロータリークラブの第一歩となりました。その後、彼は1924-26年度国際ロータリーのスペシャル・コミッショナー、1926-27年度RI理事(日本人初)、1928-31年度第70地区(当時)ガバナーなどを歴任しています。

「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないか」事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。

1952年、東京RCは彼の功績を記念し、日本で学ぶ外国人留学生に対して支援を行う「米山奨学制度」を構想しました。現在の「ロータリー米山記念奨学会」です。

1946年4月28日、長泉にて逝去。お墓は記念館近くと横浜市の総持寺の2か所にあります。

